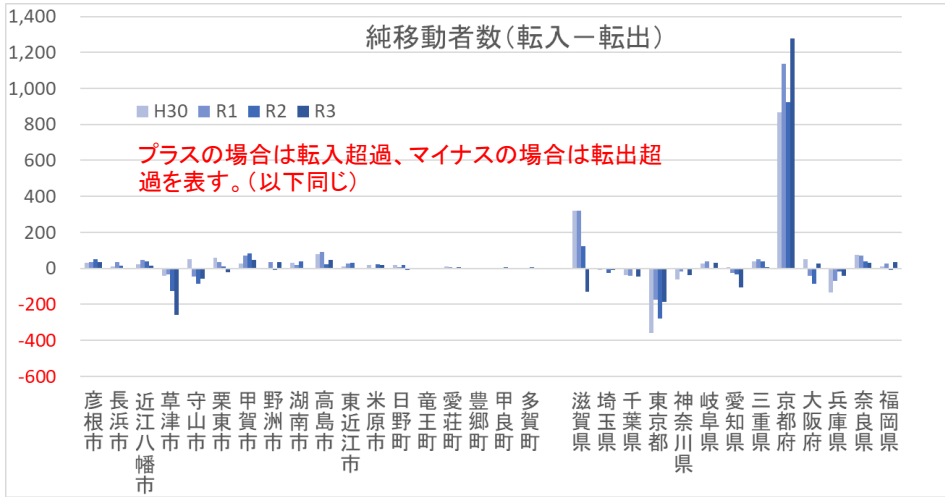


人口減少を見据えた未来へと幸せが続く滋賀 総合戦略の実施状況について

別冊①(市町別社会増減の動向)

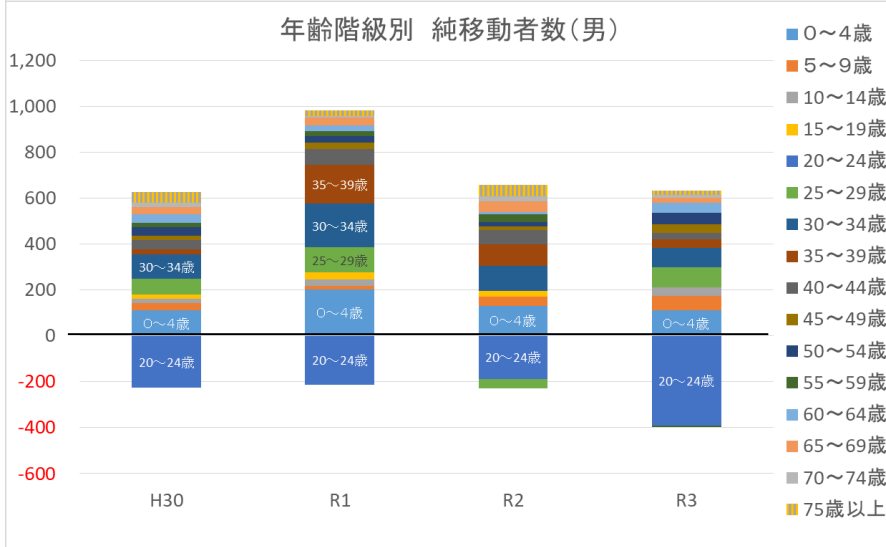
純移動者数(転入－転出)



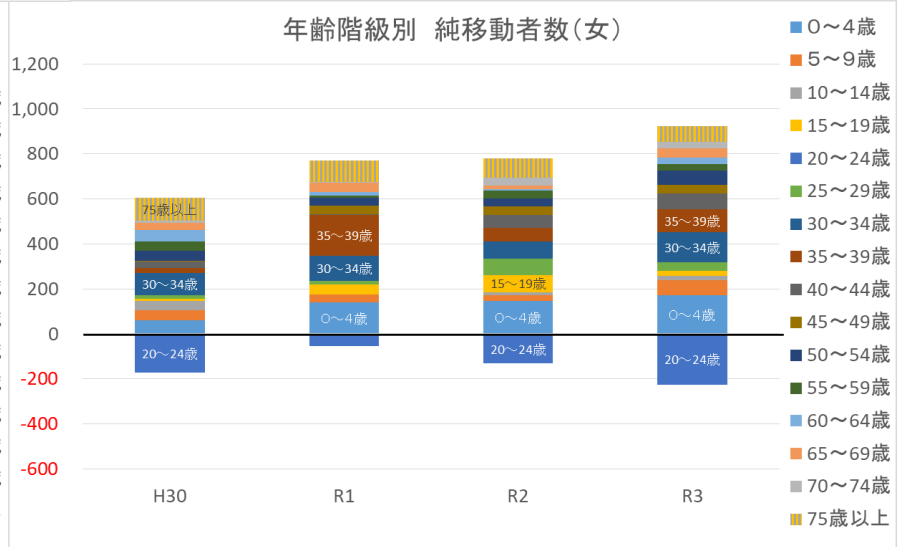
大津市

- ・ 県外との移動では、京都府からの転入超過が多く、転出超過は東京都が最も多い。
- ・ 県内の移動では、転入超過が減少傾向で、草津市や守山市への転出超過が増えてきている。
- ・ 全体的には男性、女性ともに転入超過となっているが、男性は20～24歳の転出超過が多い。

年齢階級別 純移動者数(男)



年齢階級別 純移動者数(女)

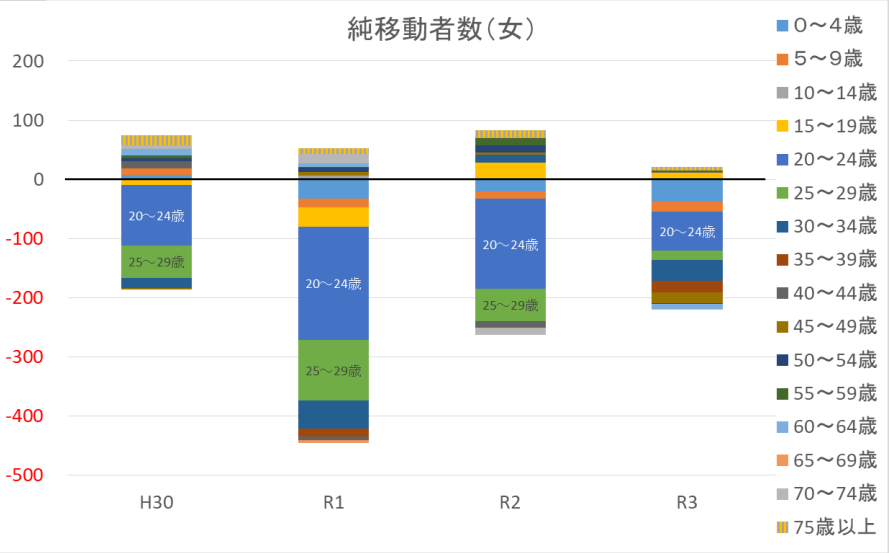
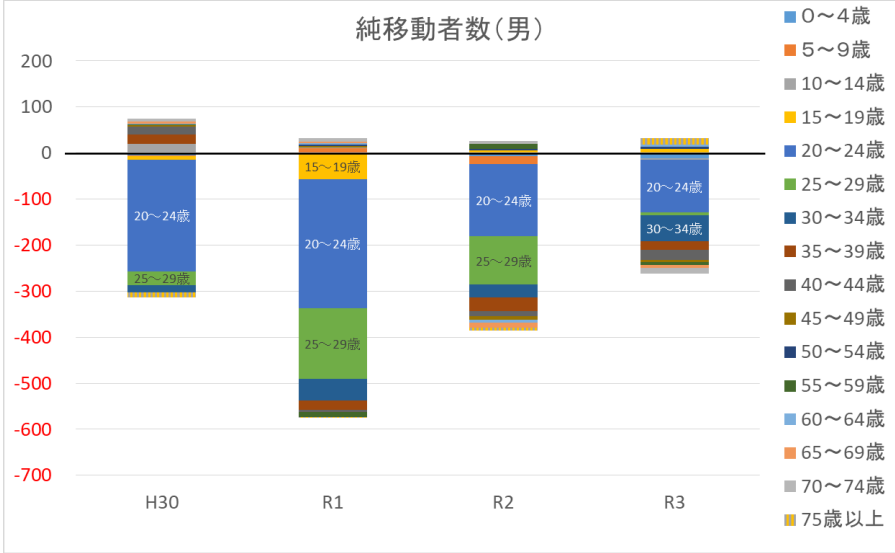
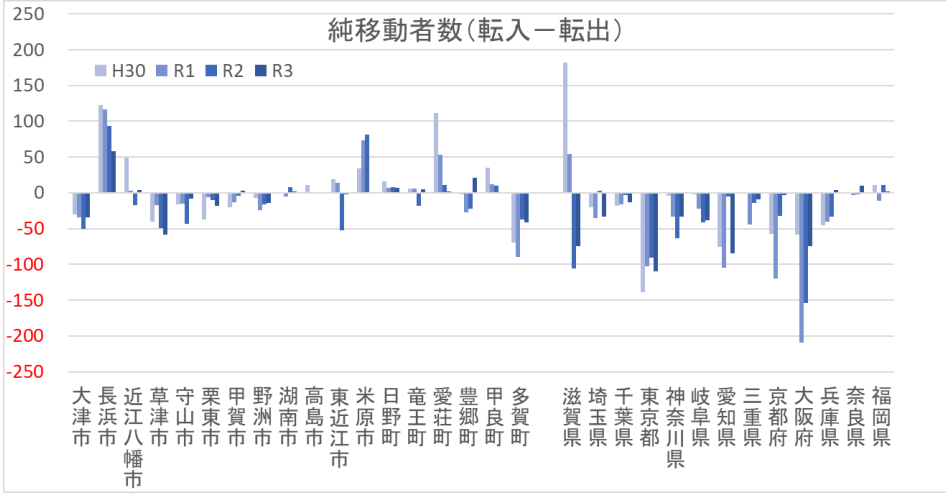


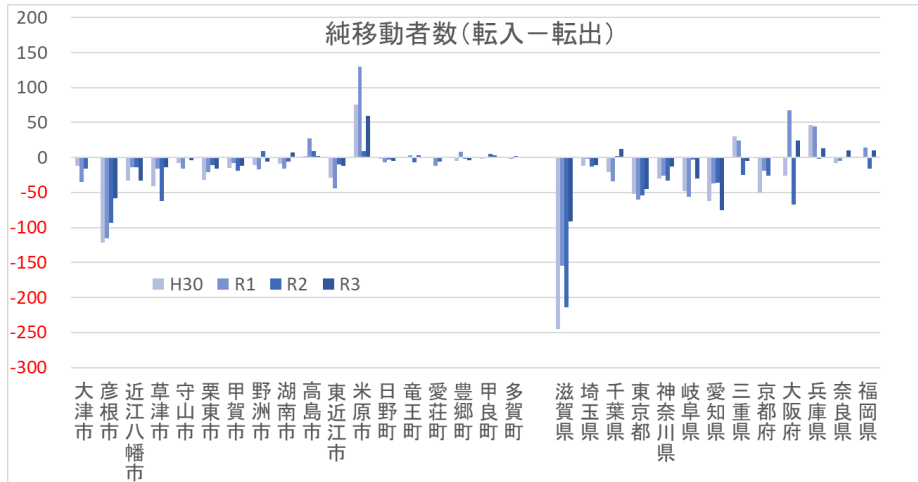
彦根市

- ・ 県外への転出超過が多い。なかでも、三大経済圏（東京都、神奈川県等の東京圏、愛知県、岐阜県等の名古屋圏、大阪府、京都府等の大阪圏）への転出超過が多い傾向。

- ・ 県内の移動は、長浜市や愛荘町など近隣からの転入超過が多かったが、減少傾向にある。大津市、草津市、守山市、野洲市等、南部への転出超過が増えている。

- ・ 男女ともに20～34歳の若者の転出超過が多い。



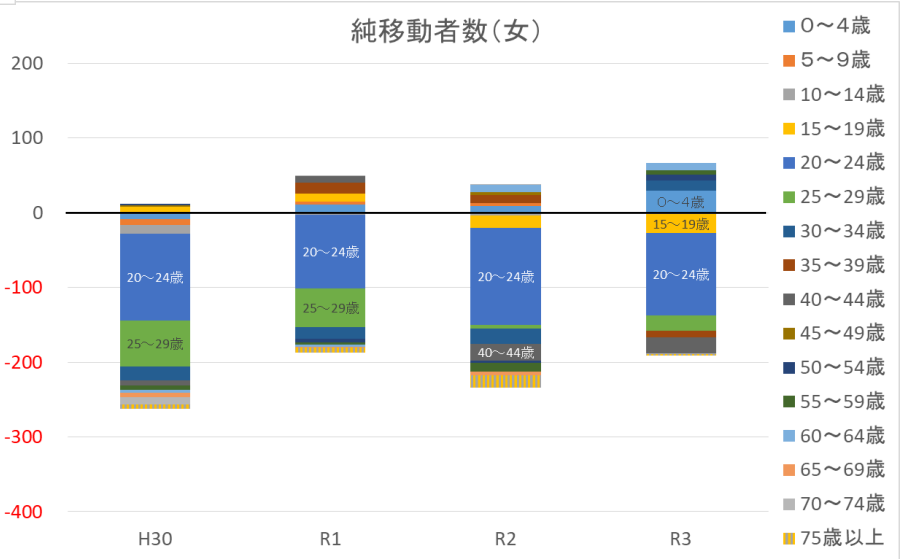
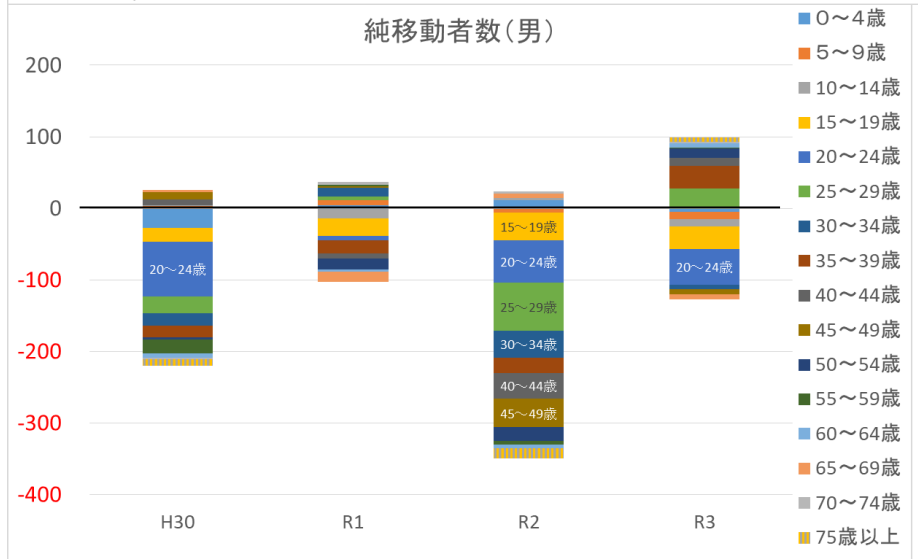


長浜市

- ・ 県内他市町への転出超過が最も多く、県外へは三大経済圏への転出超過が多いが、大阪府や兵庫県については転入超過している年も見られる。

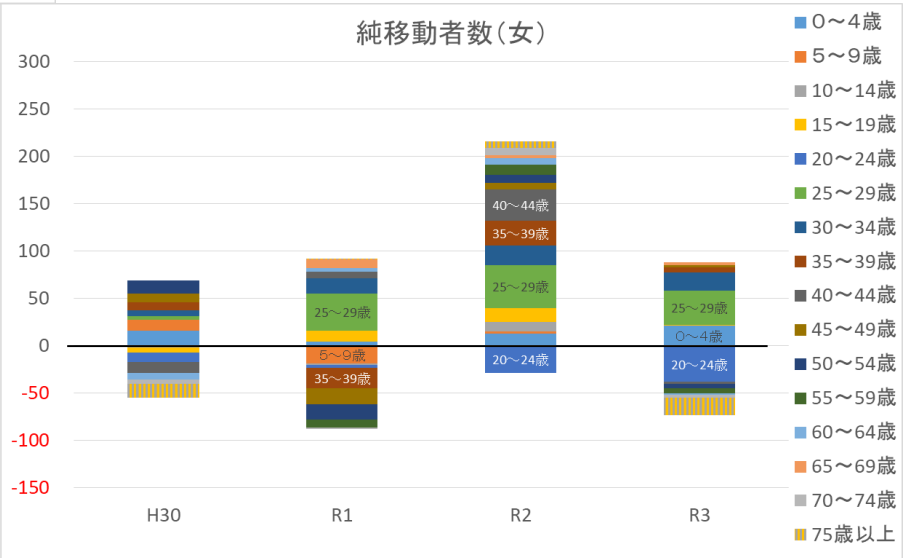
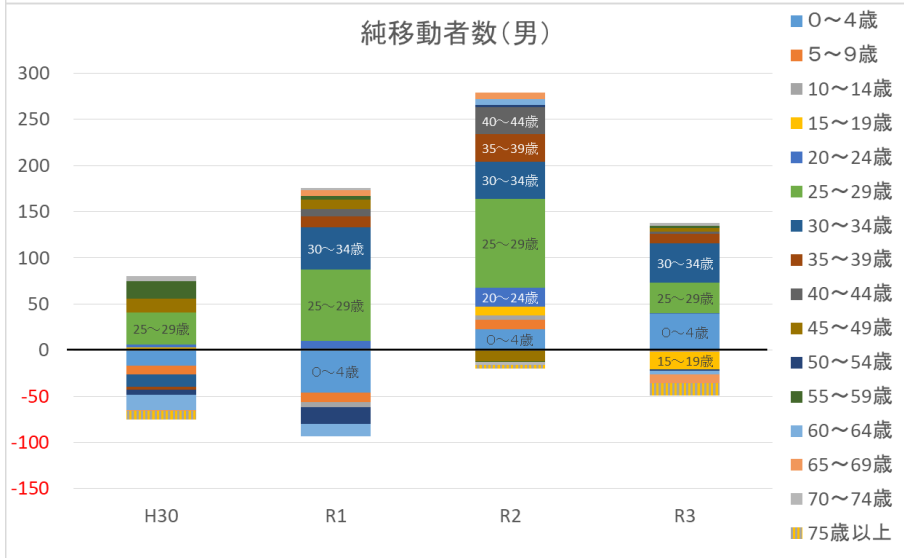
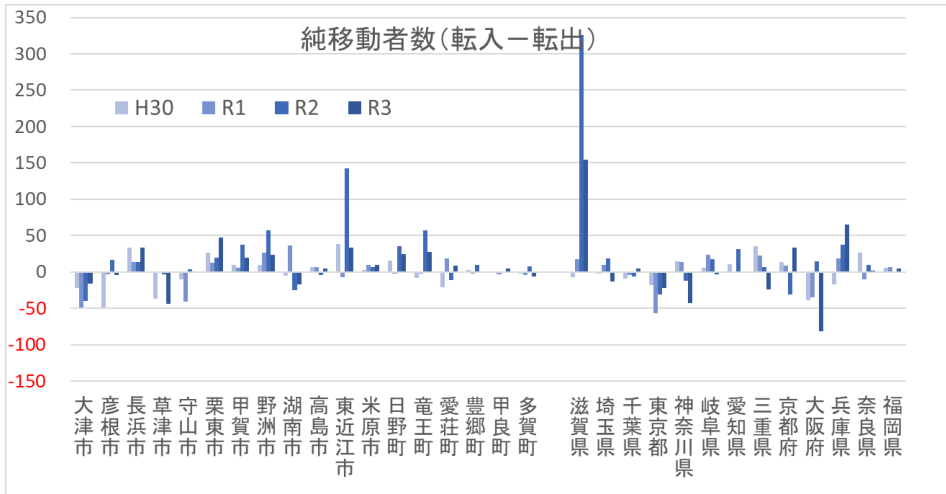
- ・ 県内の移動では彦根市への転出超過が最も多いが、減少傾向。転入超過は米原市からが最も多い。

- ・ 女性はいずれも20代の転出超過のほとんどを占めるが、男性の転出超過は年齢幅が広い。



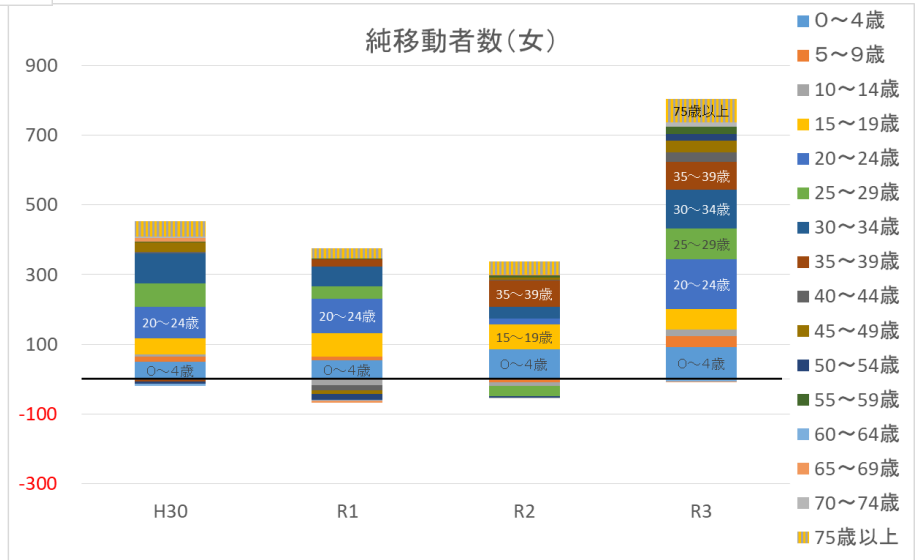
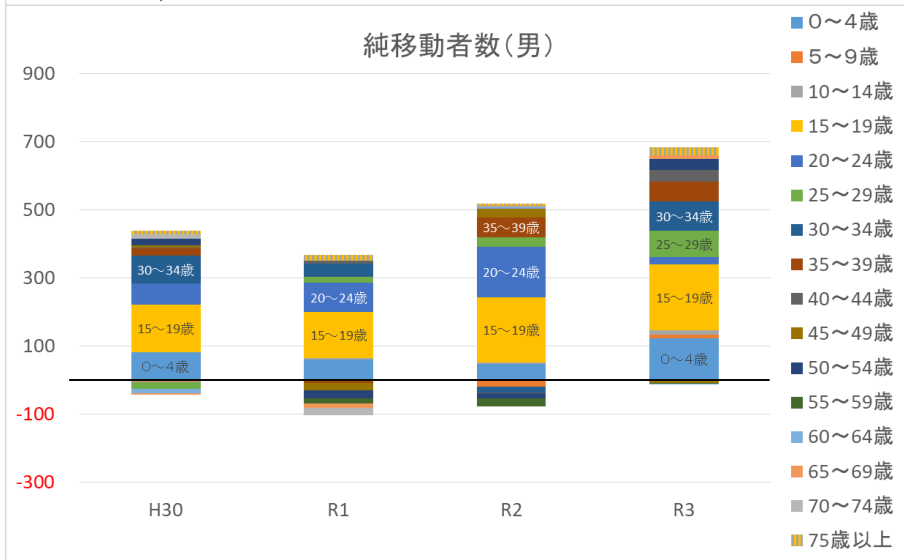
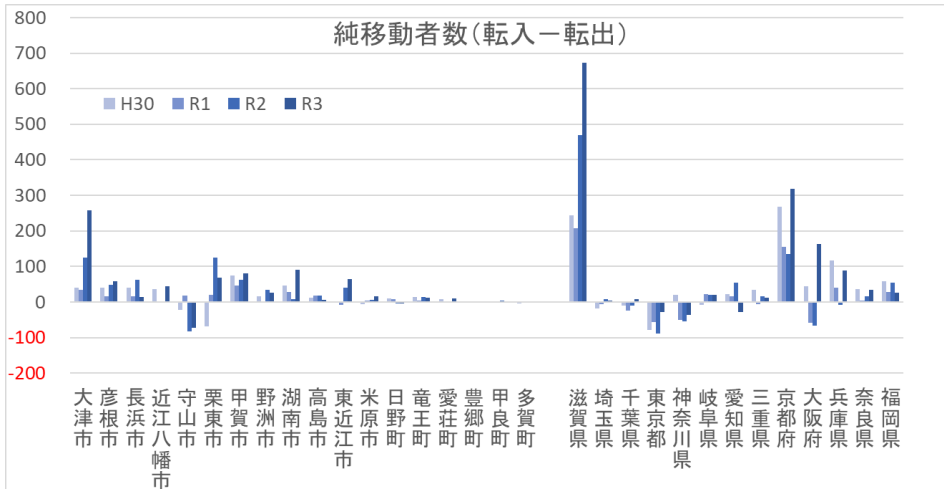
近江八幡市

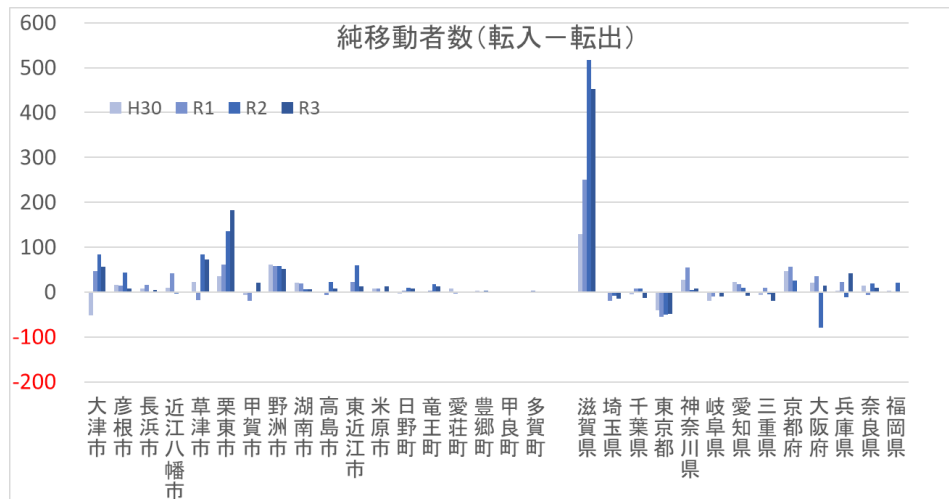
- ・ 県外については、東京都、大阪府への転出超過が多い。
- ・ 県内からの転入超過が多い傾向。東近江市が最も多く、その他の近隣市町からの転入超過も多い。大津市、草津市、守山市等の南部については転出超過が多い。
- ・ 男女ともに25～40歳の転入超過が多い。20～24歳の転出超過は全体的には少ないものの、女性はやや多い。



草津市

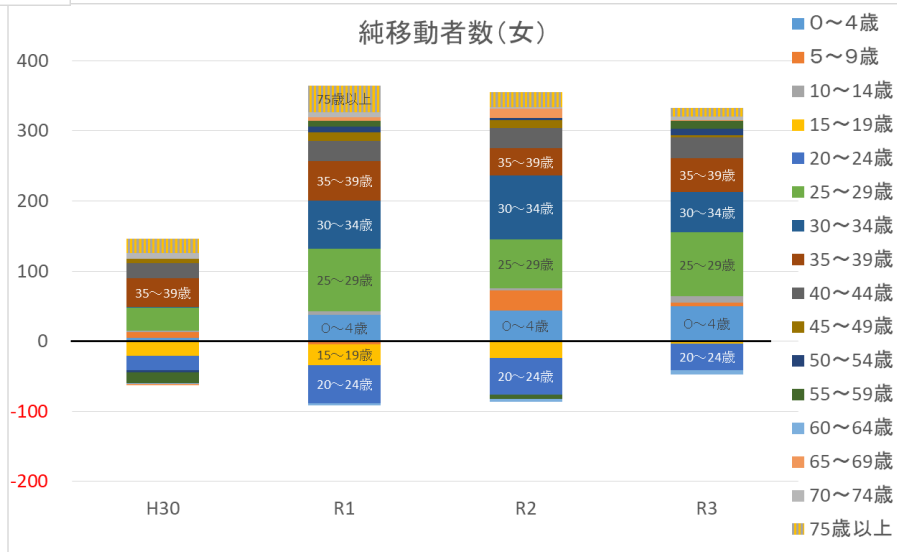
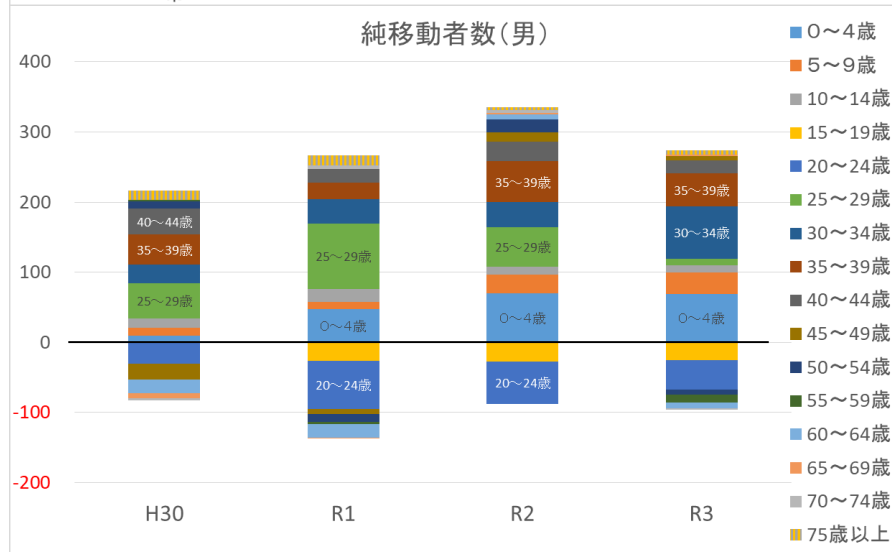
- ・ 県外では京阪神等からの転入超過が増加傾向。
- ・ 県内からの転入超過が近年著しく、大津市、栗東市、甲賀市からの転入超過が増えてきている。また、守山市への転出超過が増えてきている。
- ・ 男性は15～24歳の学生とみられる年代の転入超過が多い。

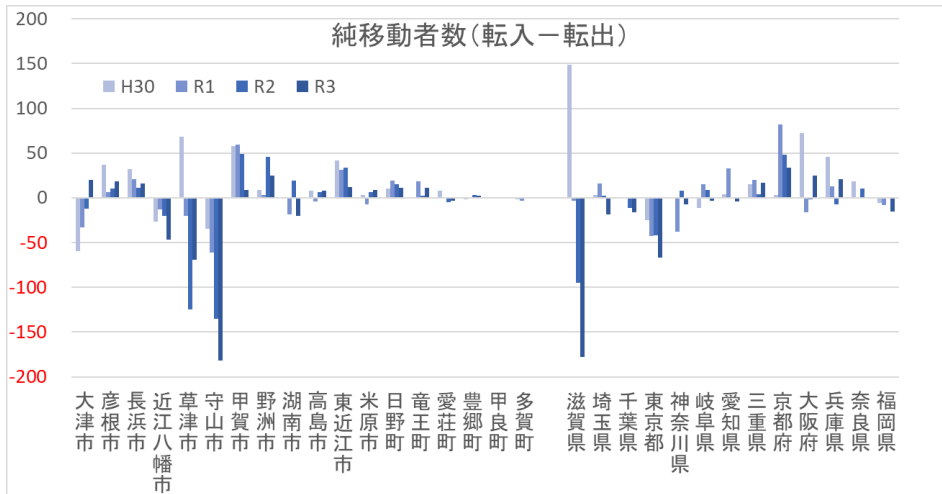




守山市

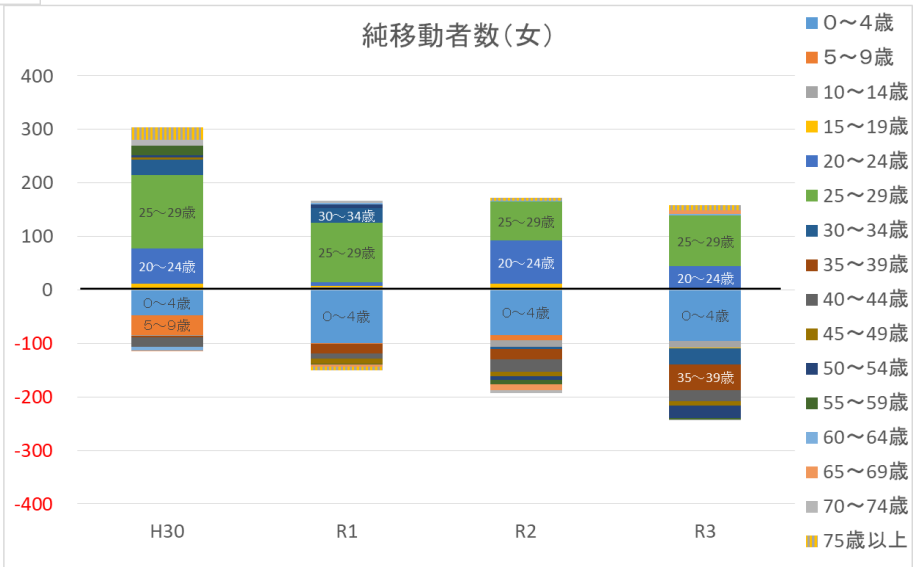
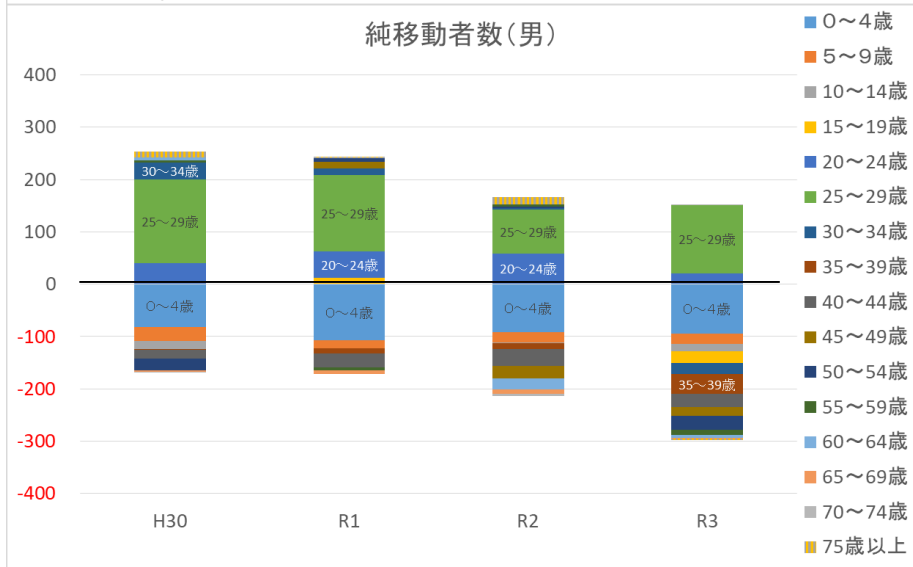
- ・ 県外との移動では、草津市ほどではないが、京阪神からの転入超過も一定数見られる。
- ・ 県内の移動では、栗東市からの転入超過が増えてきており、大津市、草津市、野洲市等南部地域の転入超過が多い。
- ・ 男女ともに15～24歳の転出超過が見られる。

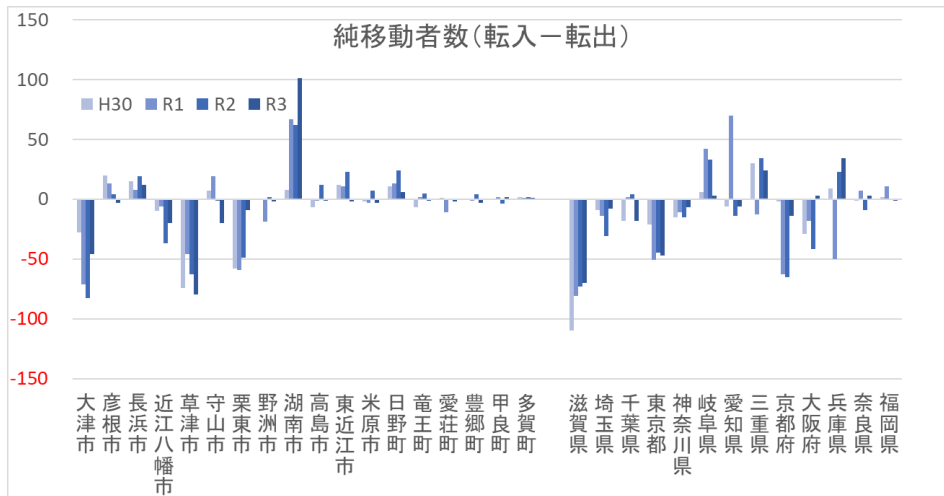




栗東市

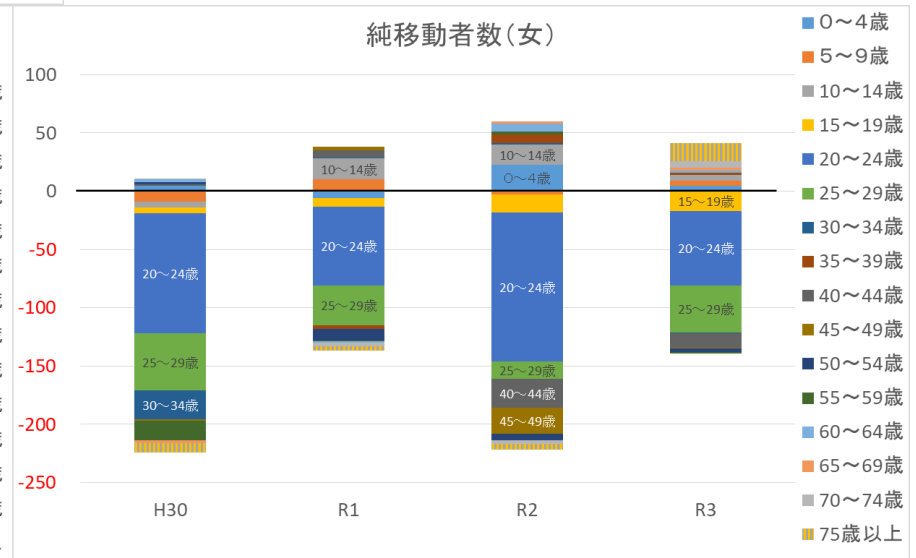
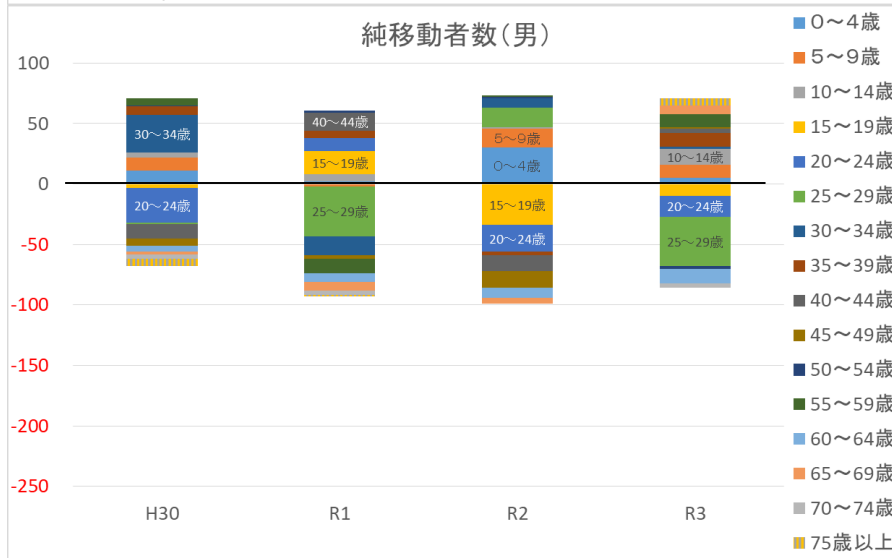
- ・ 県外からの転入超過が減少傾向にある。
- ・ 県内の移動では、草津市、守山市など隣接市町への転出超過が増加傾向にある。
- ・ 転入超過の多くを占めるのは20～29歳の若年層で、転出超過は0～4歳の割合が大きい。若いうちに転入し、子どもが生まれると、近隣の市へ転出する人が多いのではないかと考えられる。



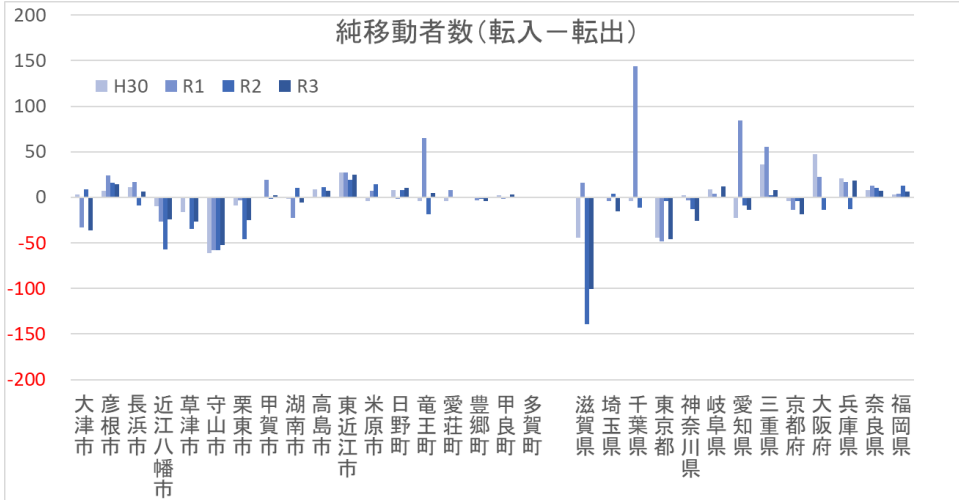


甲賀市

- ・ 県外との移動では、岐阜県、愛知県、三重県の中中部圏からの転入超過は一定数見られるが、東京都や京都府等他府県への転出超過が多い。
- ・ 県内の移動は、湖南市からの転入超過が最も多い。大津市、草津市、栗東市等南部地域への転出超過が多い。
- ・ 女性の方が転出超過が多く、内訳は20～29歳が多くを占める。



純移動者数(転入－転出)



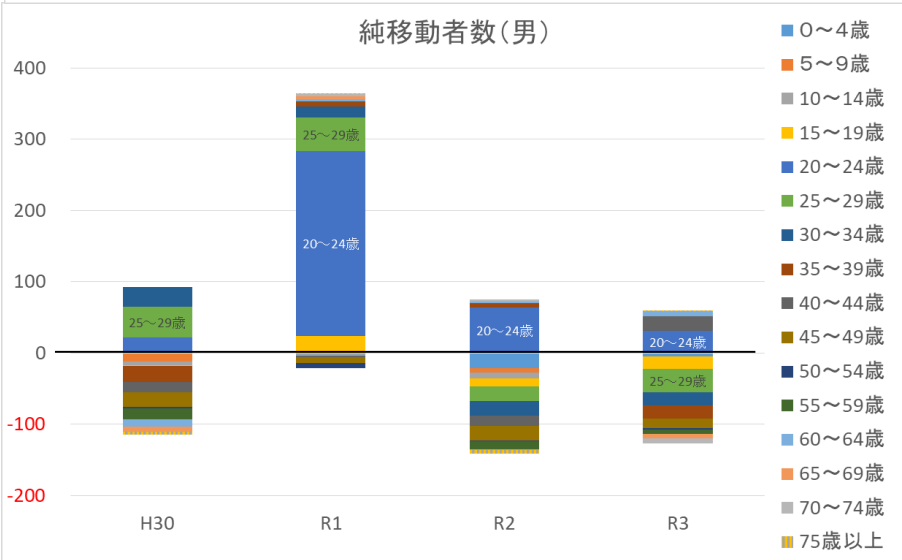
野洲市

・県外との移動では、愛知県、三重県、大阪府等の転入超過が多く、東京都の転出超過が最も多い。

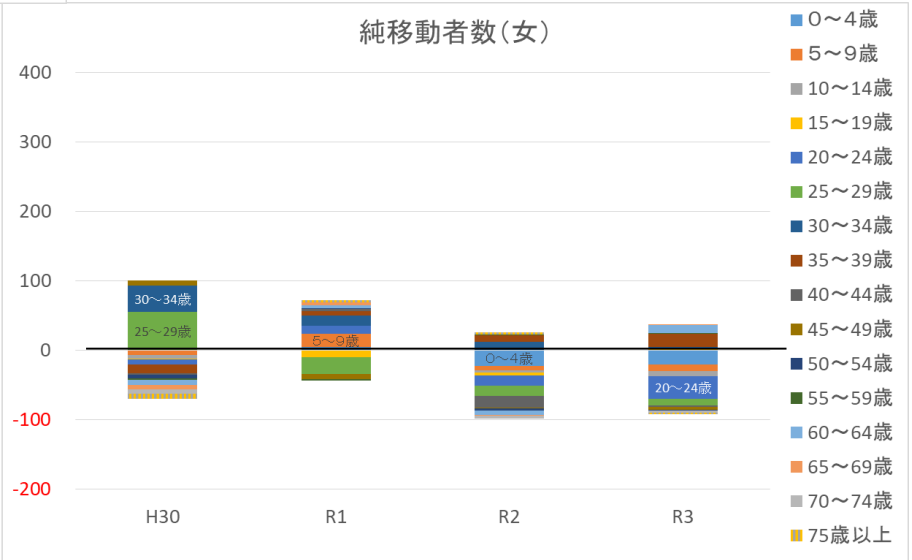
・県内の移動は、東近江市や彦根市等からの転入超過が多く、守山市や近江八幡市等の転出超過が多い。

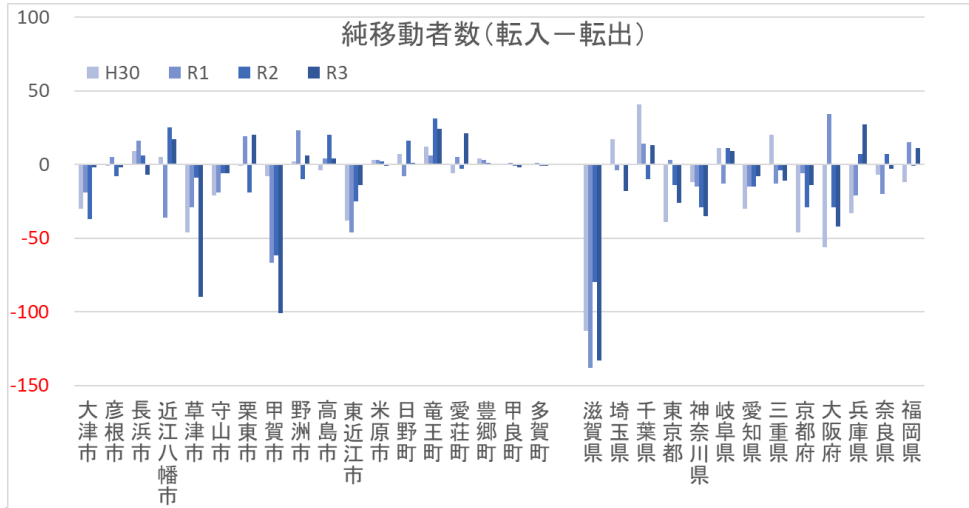
・他県からの転入超過が急増している年があるが、20～24歳の男性が原因であることから、市内の企業等へ転勤等があったと考えられる。一方、20～24歳の女性は転出超過傾向にある。

純移動者数(男)



純移動者数(女)

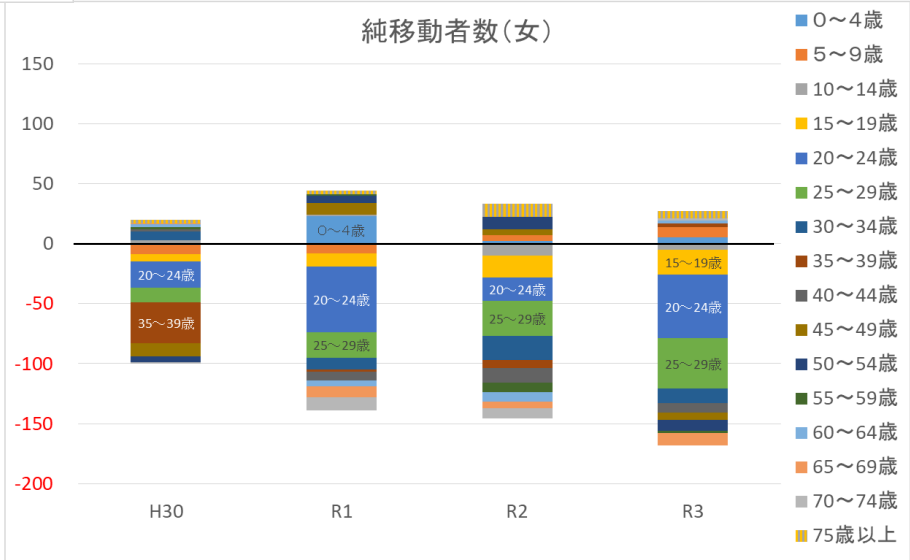
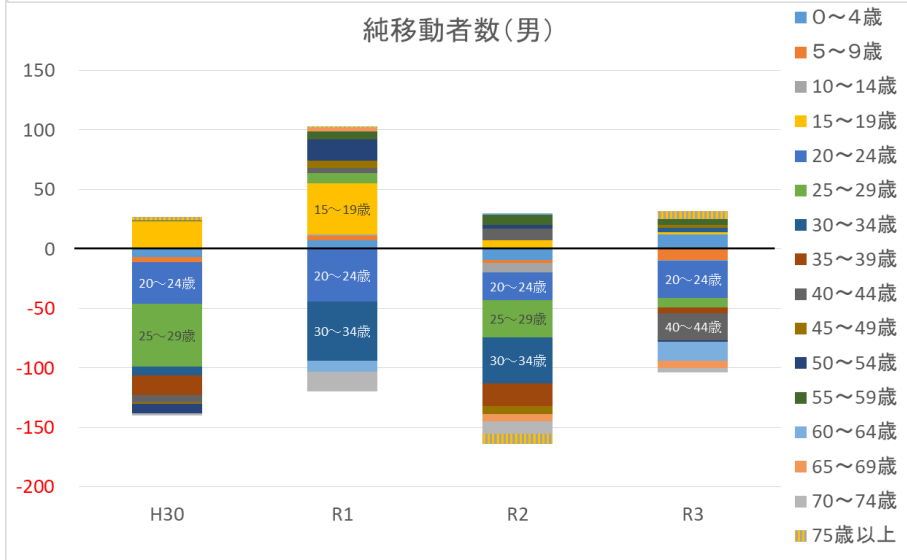


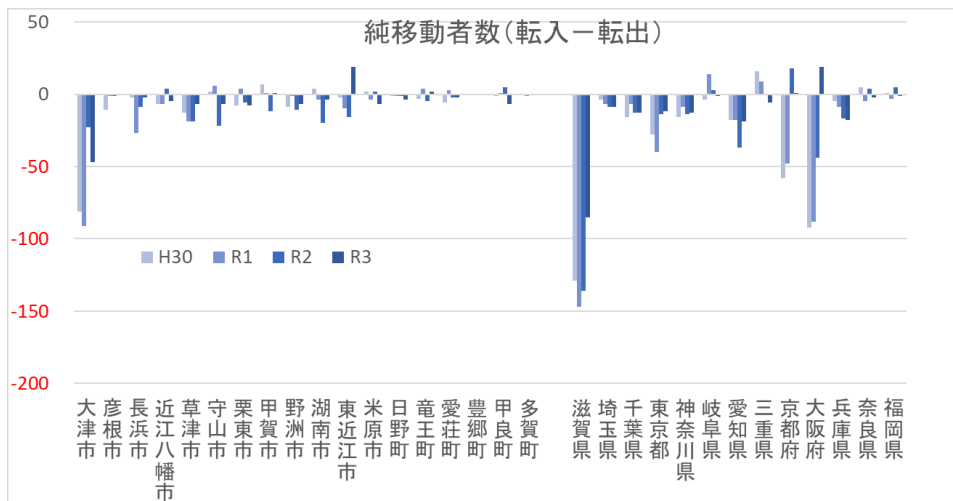


湖南省市

- ・ 県外との移動では、東京都、神奈川県、愛知県、大阪府等への転出超過が多い。

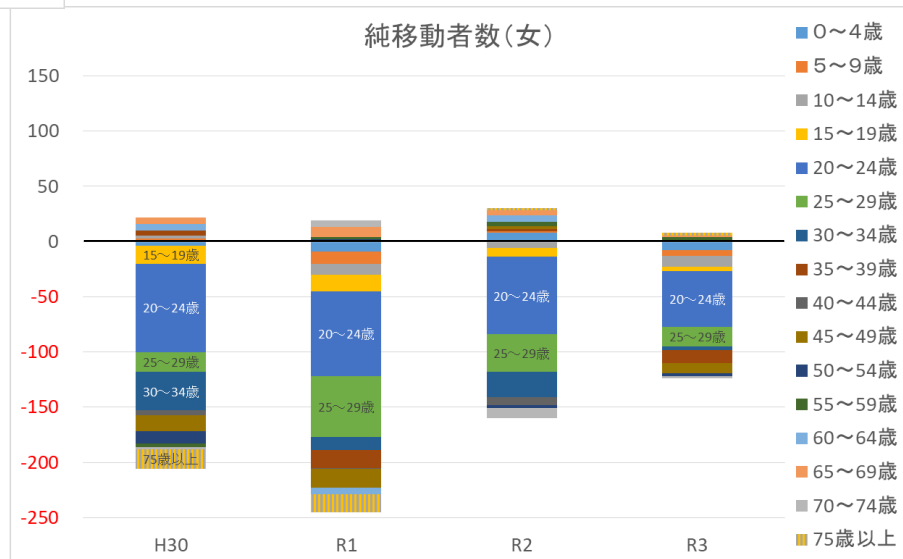
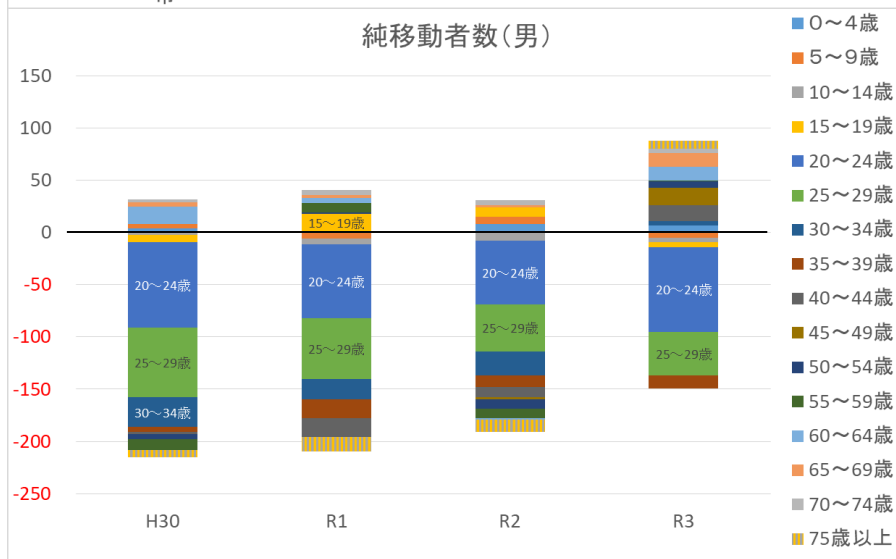
- ・ 県内の移動では、甲賀市へ転出超過が多いが、草津市や大津市への転出超過が増加している。





高島市

- ・ 県外との移動では三大経済圏、県内では大津市への転出超過が多い。
- ・ 男女とも、20歳代の転出超過が半数以上を占めている。

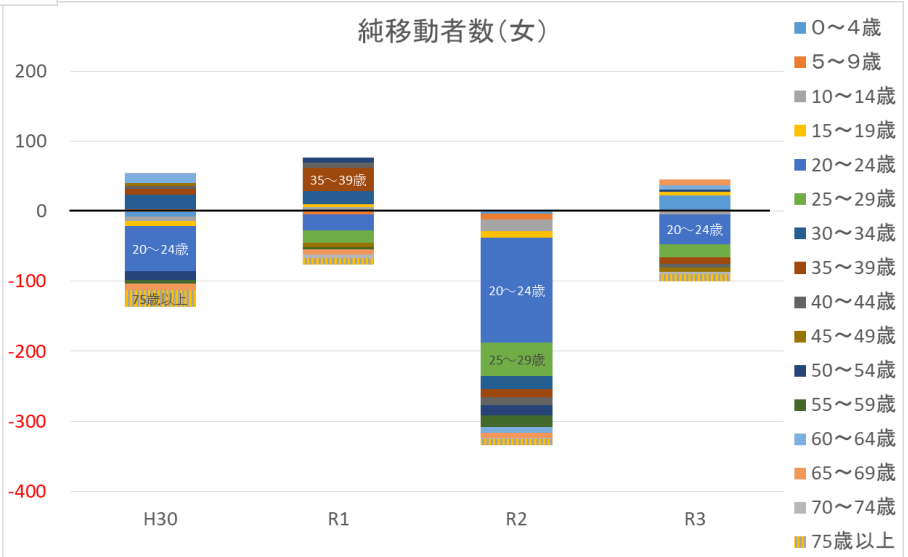
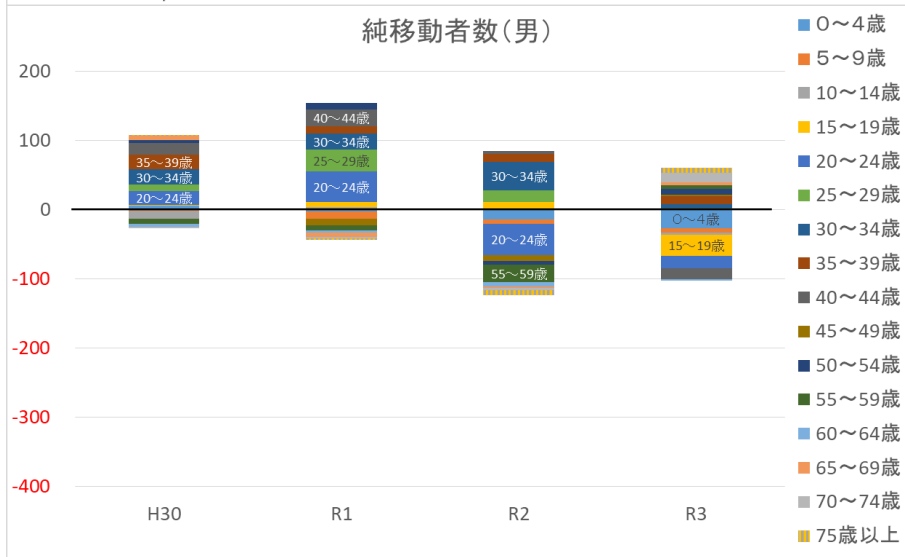
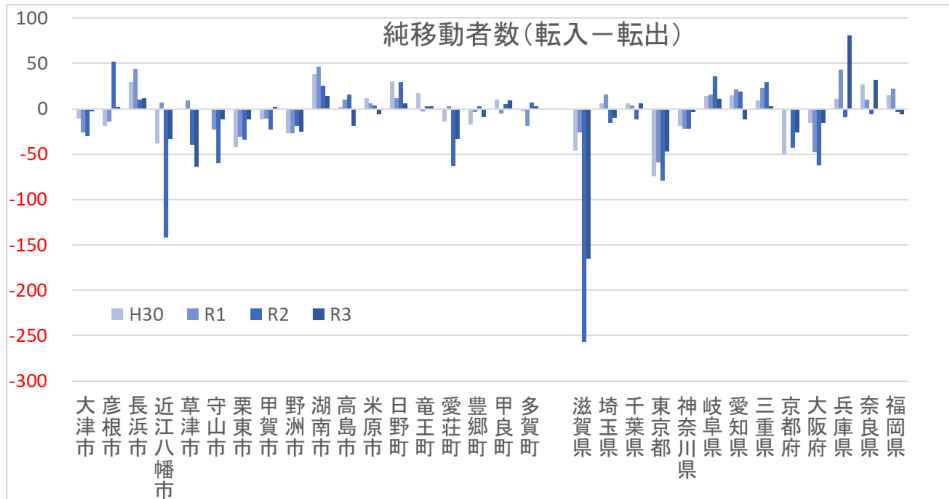


東近江市

・ 県外との移動では、近隣他県からの転入超過が一定数見られる。転出超過は、東京圏、大阪圏が多い。

・ 県内の移動では、隣接する近江八幡市や愛荘町のほか、草津市、守山市への転出超過も多い。

・ 男性に比べ、女性の20歳代の若年層の転出超過が目立つ。

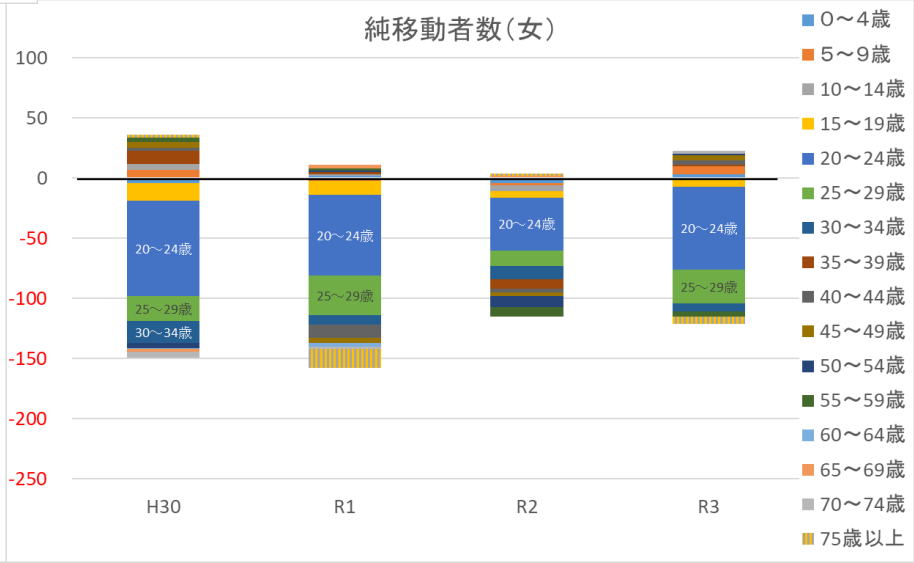
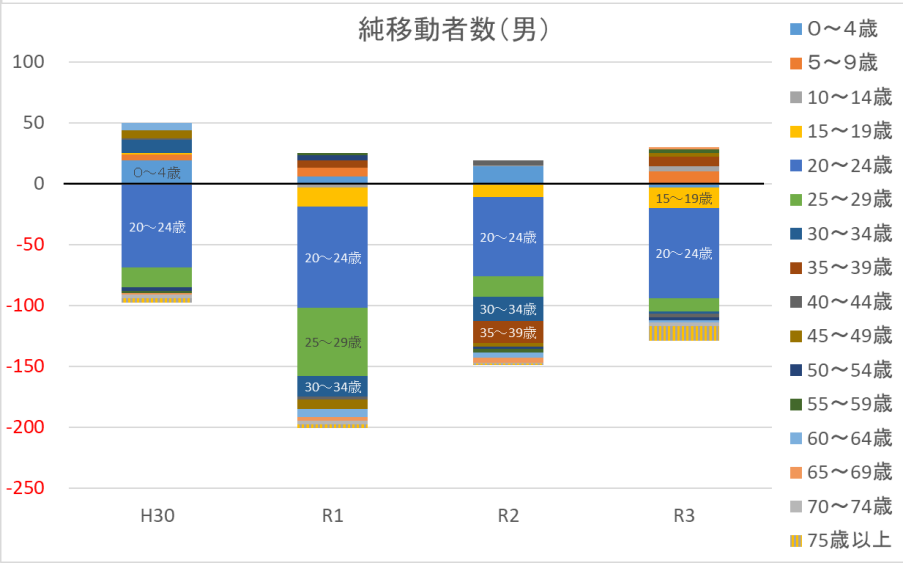
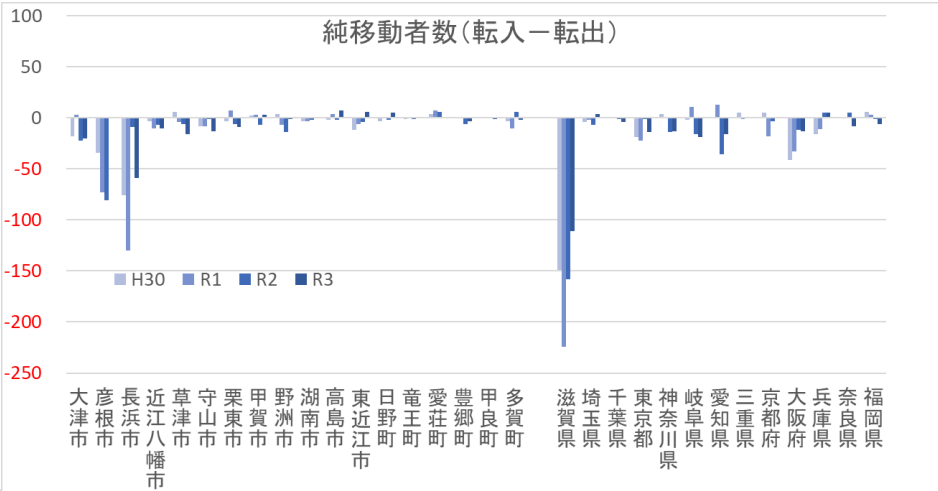


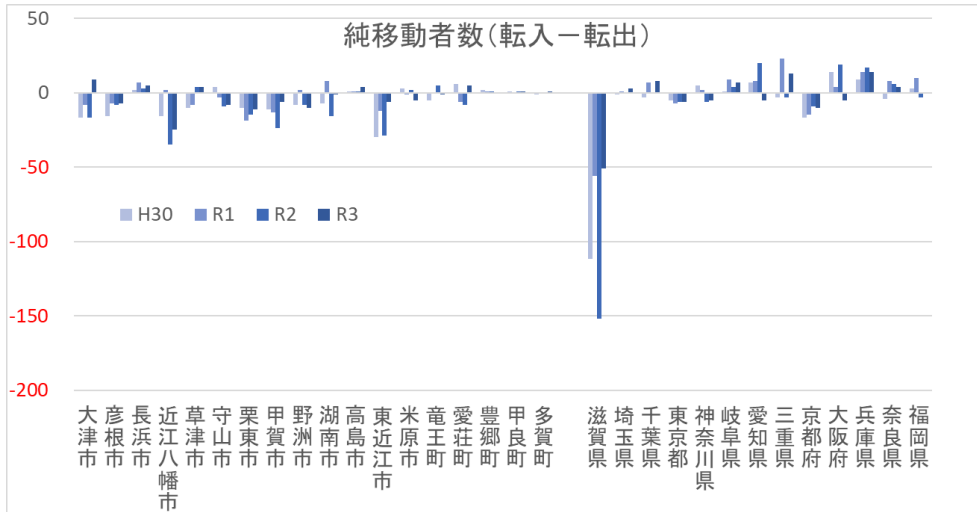
米原市

- ・ 県外との移動は少なく、他市町への転出超過が多い。そのほとんどが近隣の長浜市、彦根市に集中している。

- ・ わずかながら南部への転出超過が増加傾向にある。

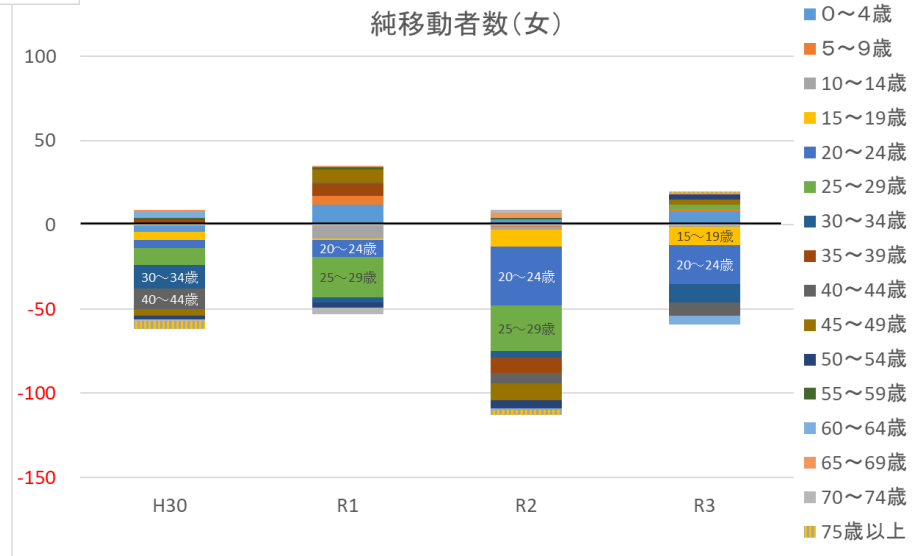
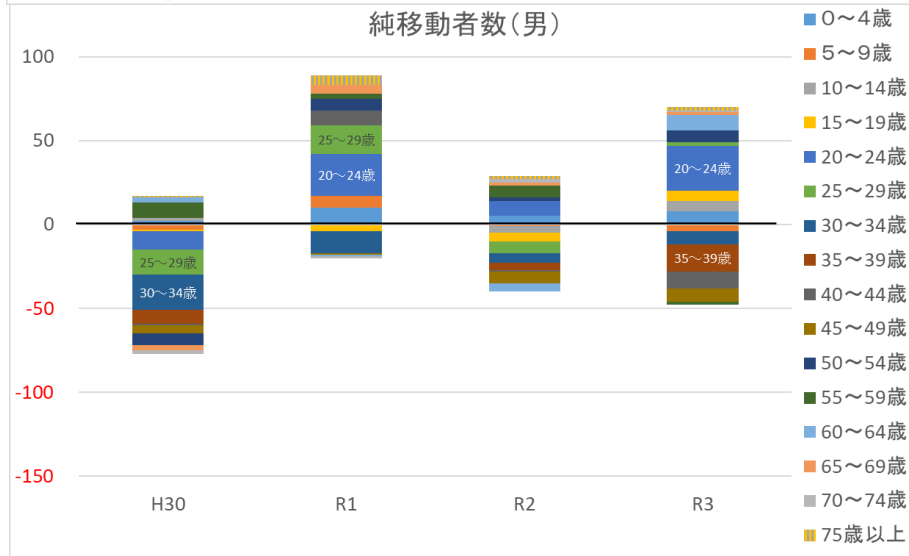
- ・ 男女ともに20歳代の転出超過が最も多いが、30歳代の転出超過も多い。

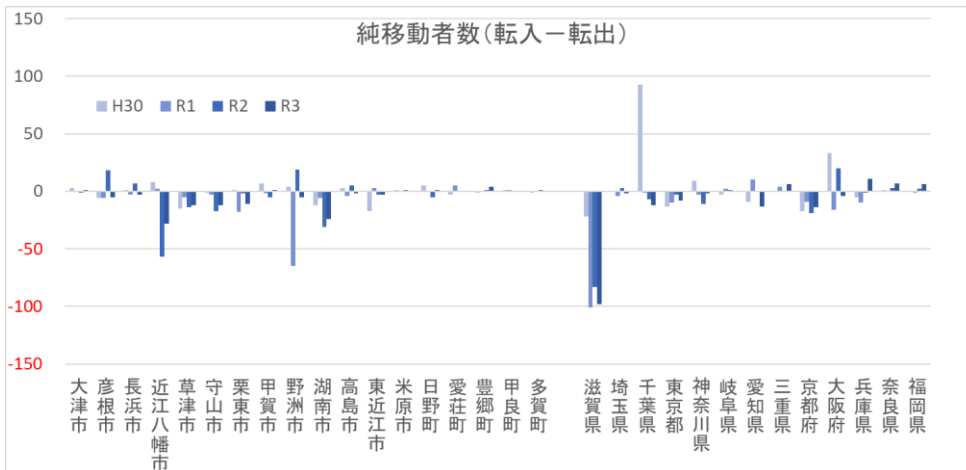




日野町

- ・岐阜県、愛知県、兵庫県等の近隣県からの転入超過が一定数あるが、多くが県内他市町へ転出超過となっている。
- ・県内の移動では、近江八幡市や東近江市等への転出超過が最も多い。
- ・男性は20～24歳の転入超過が多いが、女性は転出超過となっている。

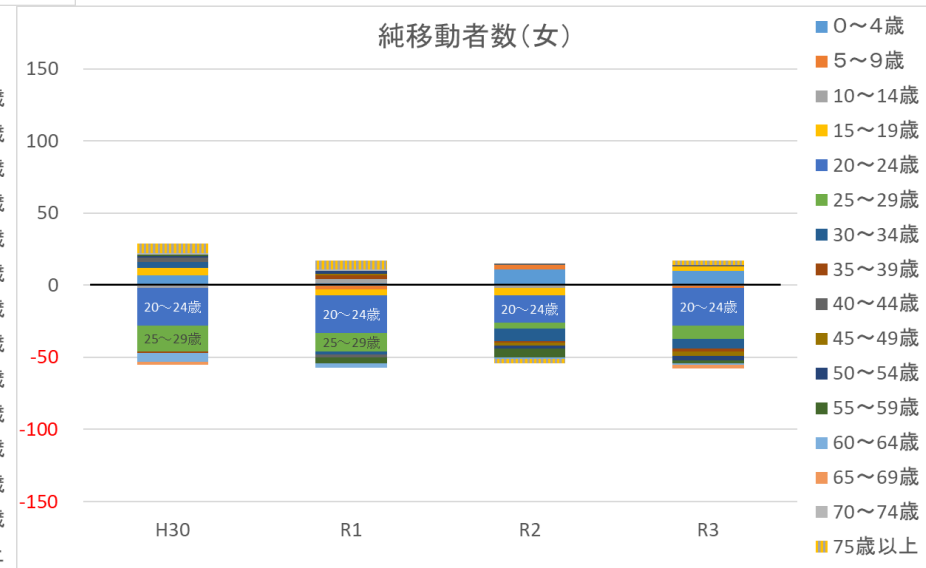
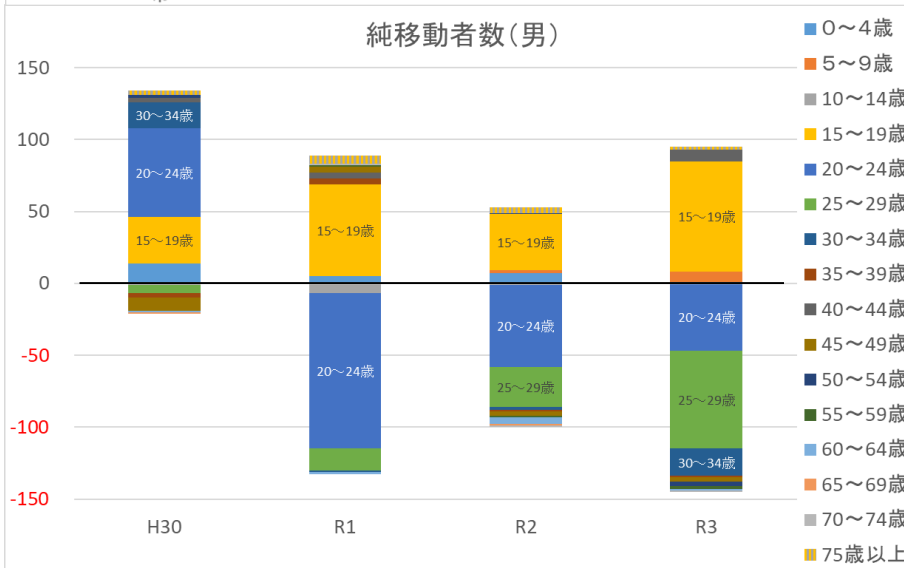




竜王町

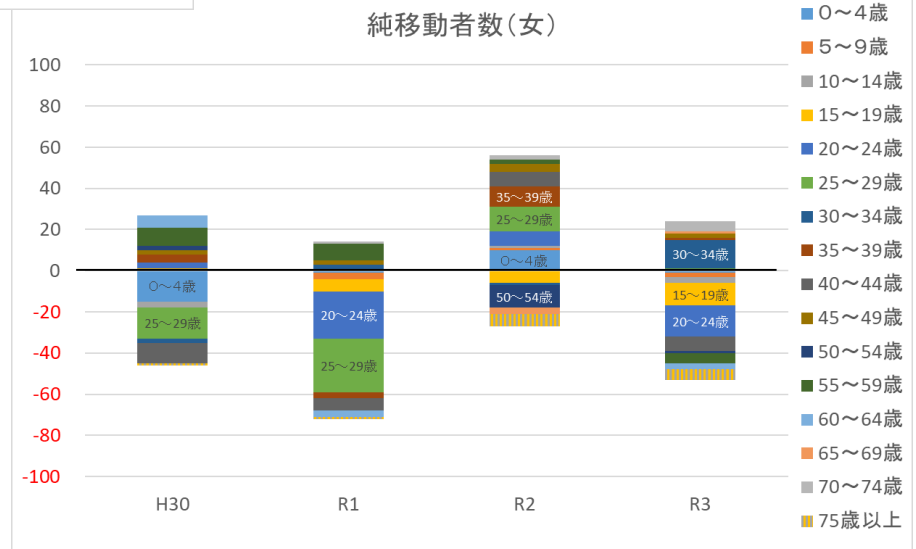
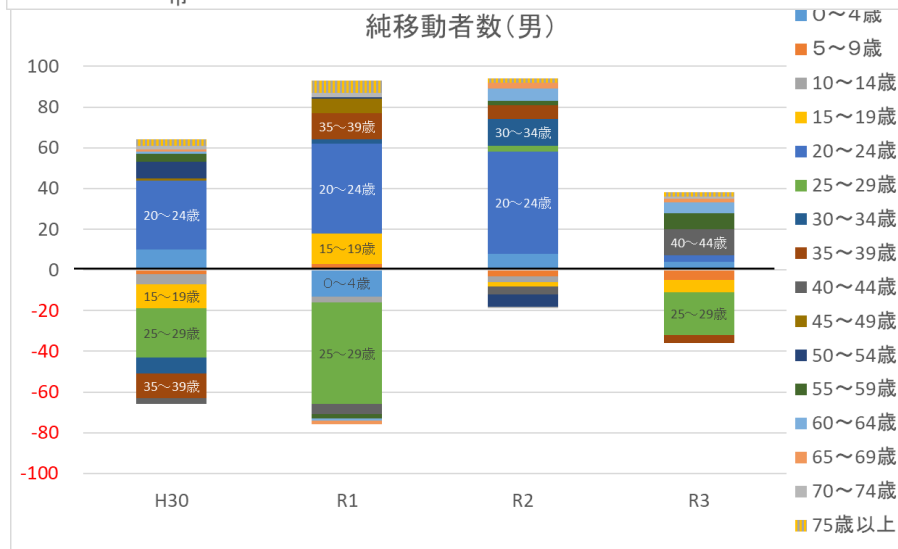
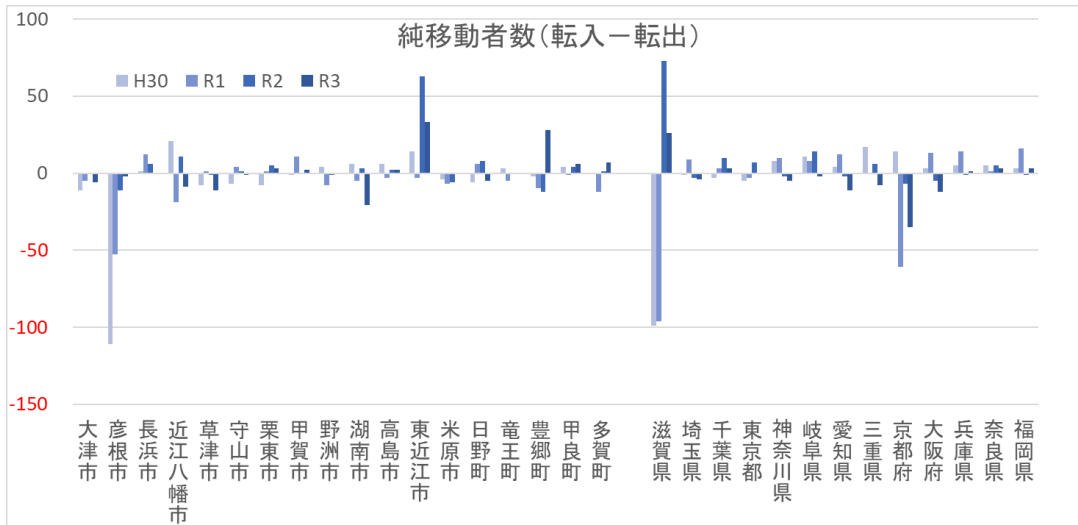
・特定の年や年代に転入超過が目立つことから、野洲市と同様、町内への企業等への転勤など、特別な事情があると考えられる。

・男性よりは少ないものの、女性も20～24歳の転出超過が多い。



愛荘町

- ・ 県外との移動では転出超過傾向にある。
- ・ 県内の移動では、東近江市からの転入超過が多いが、彦根市への転出超過は減少傾向にある。
- ・ 20～24歳は転入超過傾向、25～29歳は転出超過傾向にある。



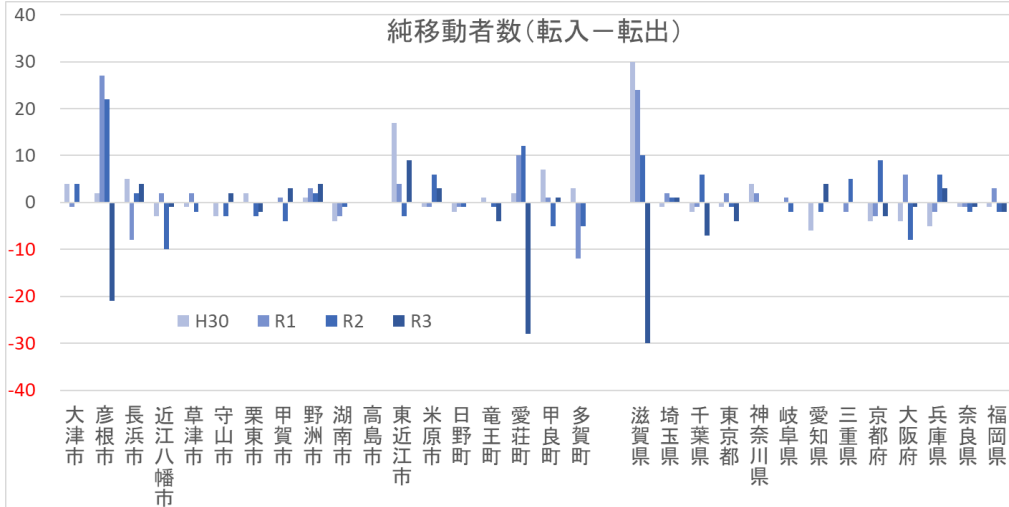
豊郷町

・ 県外との移動では京都府、大阪府、兵庫県等からの転入超過が多い。

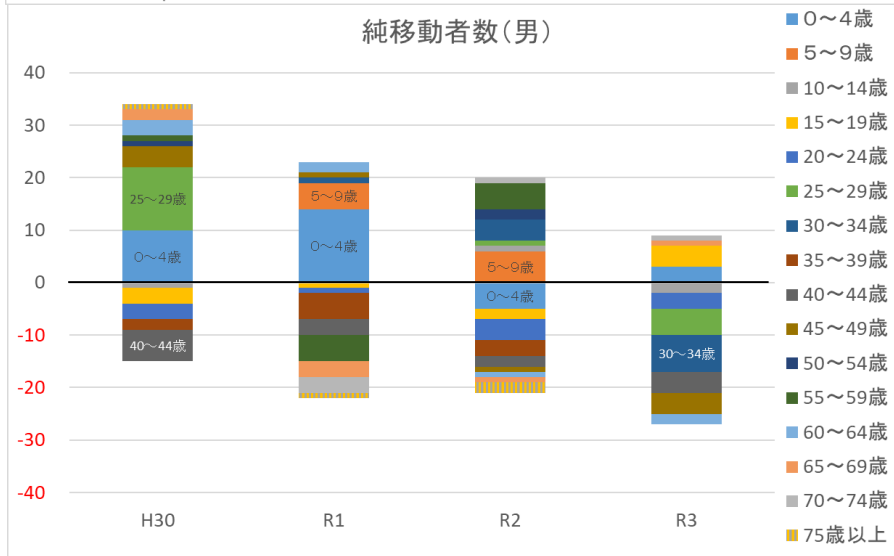
・ 県内の移動は転入超過は減少傾向で、令和3年は転出超過となり、彦根市、近江八幡市、愛荘町への転出超過が多かった。

・ 女性の20～24歳の転出超過がやや目立つ。

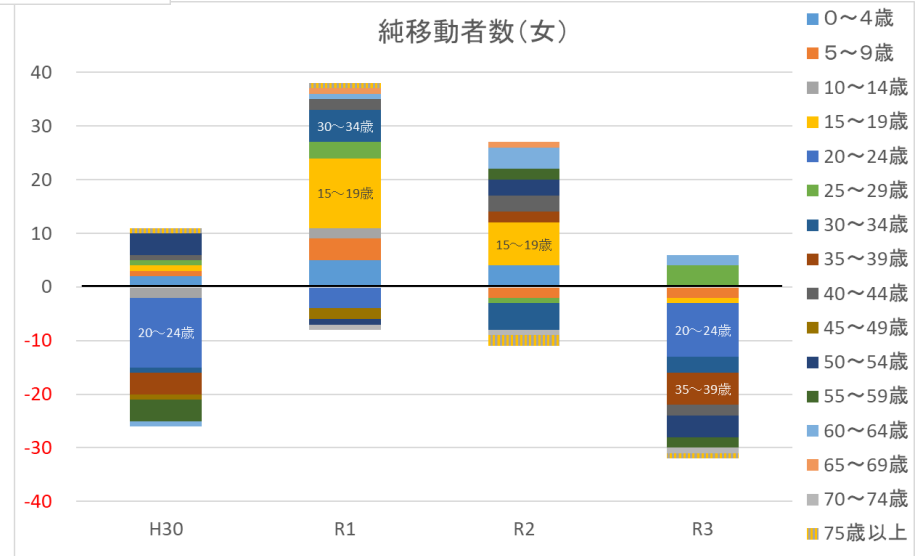
純移動者数(転入-転出)



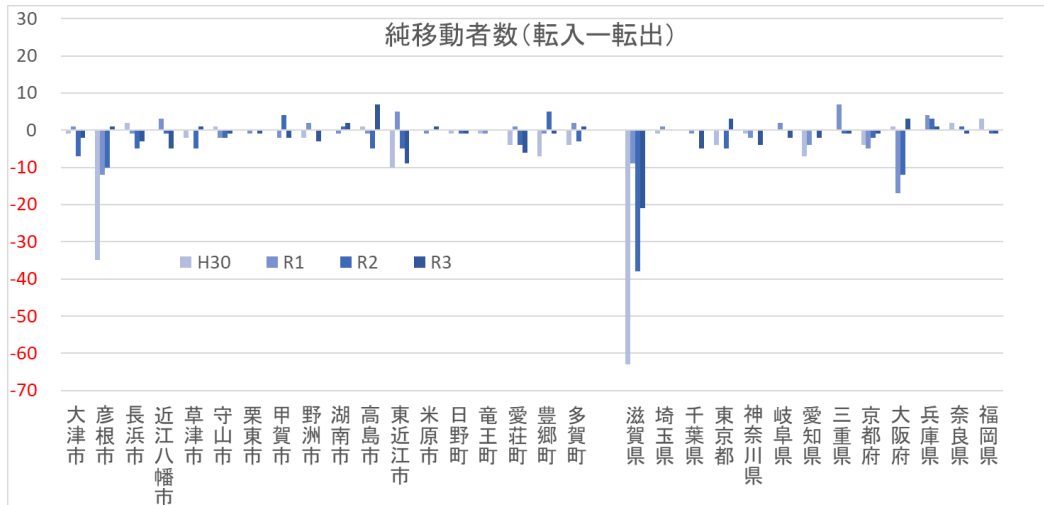
純移動者数(男)



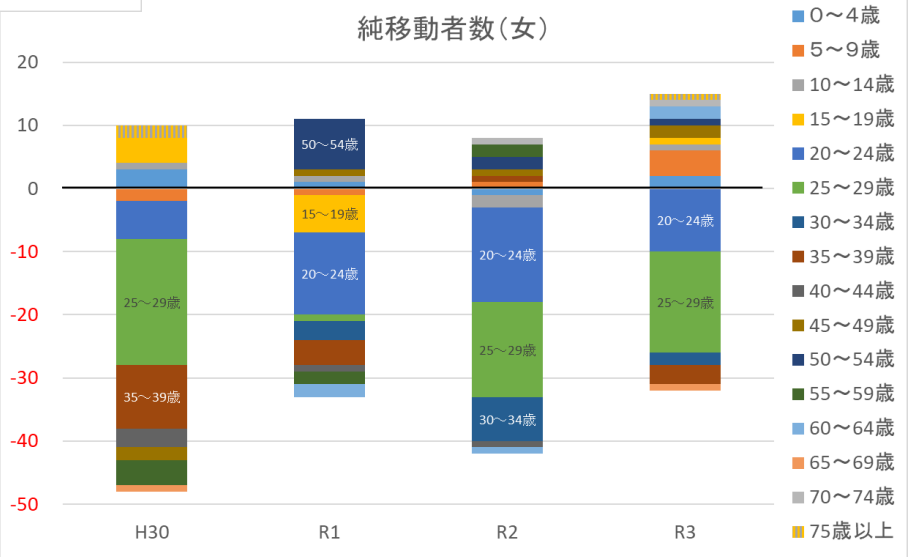
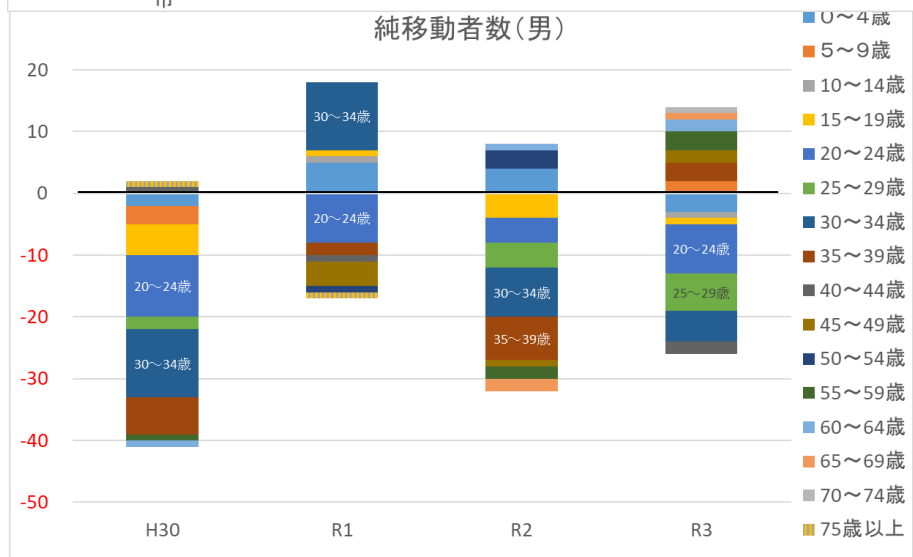
純移動者数(女)

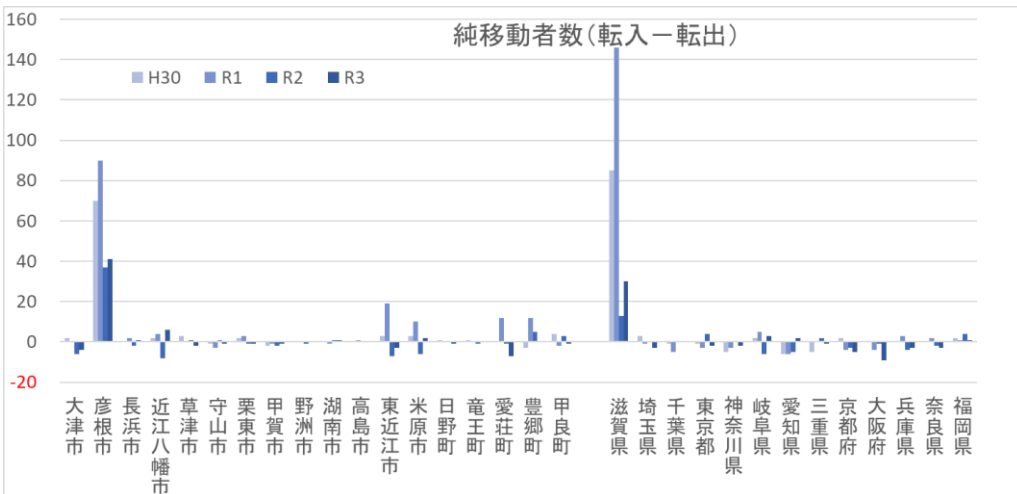


甲良町



- ・ 県外との移動では東京圏や大阪府への転出超過が多い。
- ・ 県内の移動では、彦根市や東近江市への転出超過が多い。
- ・ 全体的には女性の転出超過が多く、20歳代の割合が大きくなっている。





多賀町

- ・ 県内6町の中では、唯一転入超過が多く、そのほとんどが県内からである。
- ・ 県内の移動では、彦根市からの転入超過が多いが、大津市や近江八幡市、東近江市等への転出超過も見られる。
- ・ 転入超過の内訳では、男女ともに0～4歳の年齢の小さな子どもや20歳代後半～30歳代前半の親世代が多い。

